

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
森町	13455	1	平成21年度～平成23年度	平成21年度
活性化計画の区域				
北海道 茅部郡 森町 森地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
地域産物の販売量の増加	31.85	-4.89	-15.4	

(コメント)

選果施設については、年度内稼働を予定していたが、道内初めての施設（風乾倉庫）の設計に思ったより時間がかかり着工が遅れ選果出来なかったため、販売量の達成率が下がる原因になった。

しかし、単年度ごとの平成22・23年度の実績については、施設整備により順調に推移している。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農林水産物集出荷 貯蔵施設	馬鈴薯共選施設 (2,690㎡)、貯蔵庫 (1,196t) 馬鈴薯共選機械 (日量50t)、風乾倉庫 (30t×3) コンテナ (1.3t×872基) ハイマストフォークリフト (3t)			新函館農業協同組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
新函館農業協同組合	平成21年度	平成21年度	平成22年7月21日	
事業の効果				
・貯蔵庫を新設したことにより、原料の劣化を防ぎ青芋の比率が大幅に減少した。 ・風乾倉庫の導入により馬鈴薯の皮剥げが減り品質が向上した。 ・選別機械の能力がアップしたことにより、個選の出荷の生産者を共選出荷へと誘導できた。				

3 総合評価

(コメント)

達成率は残念ながらマイナスとなったが、原因が把握されている。また平成22・23年度については、順調に推移し森町早出し馬鈴薯の最重点課題とされていた馬鈴薯の皮剥け対策として、風乾倉庫を有効活用することにより、品質が向上し各市場から評価され単価にも反映されている。

4 第三者の意見

(コメント) 森町営農指導対策協議会

計画達成率に関しては低調だったが、単年度ごとの実績を見ると、森町の早出し馬鈴薯が、集出荷貯蔵施設の導入により、生産者・各市場から評価され今後も販売量の増加及び生産額の向上が期待できる。

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。